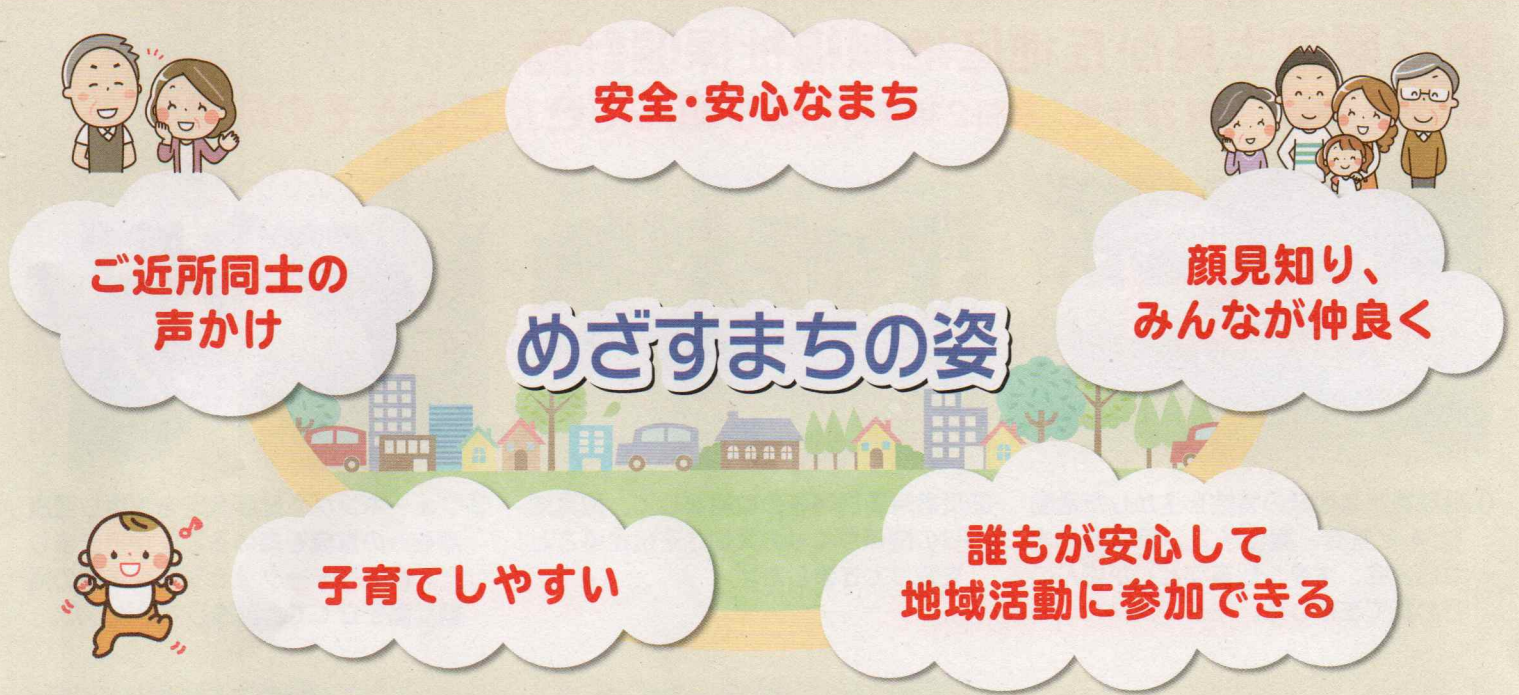


ご近所どうして助け合い 安全・安心・快適なまちづくり

※「地域福祉保健計画」は、地域の課題を地域で解決し、地域の支えあいによってだれもが安心して生活できるまちをつくるための計画です。



今後、5年間の目標と取組です！

目標1 地域活動に参加するきっかけを作ろう

- ・誰もが参加しやすい行事を企画し、広報活動に力を入れます
- ・趣味を活かした交流の場を作ります
- ・地域であいさつの輪を広めます



目標2 災害時に強いつながりを作ろう

- ・いざという時の備えとして、何が必要かを伝え、広めます
- ・災害時の備えや対策について隣近所で話ができるよう意識啓発を行います

目標3 身近な場所で健康づくりを進めよう

- ・健康寿命を延ばす取組を行います
- ・散策マップを活用して、富士見が丘地区の魅力を伝えます



目標4 地域の中で「障がい」に対する理解を深めよう

- ・福祉施設と一緒に楽しめるような場所や機会を作ります
- ・障がい児・者についての理解を深められるよう工夫します

目標5 地域で子育てを応援しよう

- ・成長段階にあわせた子育て支援を行います
- ・子育て（サロン、サークル、ネットワーク連絡会）の活動を支援します



目標6 高齢者が生きがいをもてるようにしよう

- ・身近で気軽に集える機会を増やします
- ・介護について考える機会を増やします



富士見が丘地区の概況

- ・緑が豊富で自然環境豊か。またその環境を生かした活動が活発。
- ・福祉施設が多くあり、地域とのつながりづくりが進められている。
- ・「福祉の会」、子育てサロン、高齢者サロン、健康づくりなどご近所同士の助け合いの輪が広がっている。
- ・地域とのつながりが深いと感じている人が多い（区民意識調査結果より）
- ・健康づくりに対する意識が高い地区である。
- ・地区の高齢化率は32.66%（R1年9月時点）

第3期富士見が丘地区地域福祉保健計画 過去5年間(平成28年度～令和2年度)に取り組んできたこととその成果です！



①自然豊かな地域の特性を生かした活動（どんど焼き、案山子コンテスト、オセロ大会、ホテル観賞など）が盛んに行われてきました。



②災害時要援護者の取組として、顔見知りの関係づくりの大切さを伝えることを続けてきました。



③ウォーキングや健康測定を実施し健康寿命への意識を高めることができました。またウォーククラブでは年間の活動計画を立てて、実施してきました。



④推進委員会などを通して、地域の障害者施設の紹介と交流を行ったり、中学生が参加して貴重な意見が出るなど交流が行われました。



⑤中学生と親子が交流できる場を設けるなど、子育てネットワークと連携し様々な行事に参加しました。



⑥サロン活動では高齢者も担い手も楽しみながら交流が持てました。また、ふれあい忘年会では泉サポートプロジェクトによる送迎を実施しました。



「介護者のつどい」を年に2回ほど開催し、現在介護で悩まれている方や今後の介護に不安のある方が気楽にお話できる場を提供しました。



活動団体を紹介したパンフレット集（右上写真）。参加者や支援者を増やし、毎年改訂をしています。現在、掲載は76団体になりました。団体を紹介するパネルは、毎年富士見が丘まつりで展示しています（左上写真）。また、年2回の推進委員会では、お互いの活動を振り返り、交流を深めてきました。

パンフレット集

